

## 令和7年度長崎県高等学校総合文化祭【弁論部門】実施要項

- 1 目的 弁論を通じて人格を錬磨し、社会や文化の発展に貢献できるよう、県下の高校生を対象として、言論発表の場を与え、知性の向上と豊かな教養の育成を図り、生徒同士の親睦と相互理解を深めることを目的とします。
- 2 日時 令和7年10月29日(水) 10:00~16:20
- 3 会場 アルカス SASEBO 中ホール
- 4 主催 長崎県高等学校文化連盟
- 5 主管 長崎県高等学校文化連盟弁論専門部
- 6 参加規定 各高等学校で推薦された生徒。1校につき2名以内。  
〈別紙1〉『個人情報に関する承諾書』に弁士・保護者の署名が必要です。
- 7 発表規定 (1) 演題自由。(ただし、大会の趣旨に沿ったものであること)  
他の弁論大会等で発表した演題も可とする。ただし、前年度のものは不可とする。  
(2) 弁士は『時計および計時機能を有する物、通信機器類(タブレット・スマートフォン・ウェアラブル等のデバイス)』を壇上に持ち込むことはできない。  
ただし、特別な事情がある場合は別途審議するので、部門事務局に事前に申し出ること。  
(3) 発表時間は、6分以上~7分以内。  
(4) マイクは使用する。
- 8 発表順序 抽選によって決定します。
- 9 審査員 主催者が委嘱した7名で構成します。
- 10 審査規定 (1) 7人の審査委員が100点満点(論旨60点・表現40点)で採点します。  
なお、6分未満、7分超過の場合は、5秒毎に3点減点します。  
(2) 最高点、最低点をカットした5人分の得点の和が大きい順に順位を出します。  
(3) 最高順位、最低順位をカットした5人分の順位の和が小さい順に順位を出します。  
(4) 上記(2)(3)の和が小さい順に総合順位を決めます。  
(5) 同点の場合は、7人分の論旨の合計点が高い方を上位とします。  
(6) 論旨の合計点が同点の場合は、審査員の合議により決定します。
- 11 審査基準 〈別紙3〉の審査用紙(実際に大会で審査員が使用するもの)を参考にして  
ください。なお、原稿を覚えていない場合は評価が低くなります。十分に練習を重ね、完全に暗唱した上で大会に臨むことをおすすめします。
- 12 表彰 最優秀賞1名、優秀賞2名、優良賞3名、奨励賞。  
また、上位入賞者については、下記の大会の長崎県代表として選出します。  
ただし、いずれも代表者は1校につき1名とします。  
(1) 第9回全九州高等学校総合文化祭沖縄大会弁論部門  
日時 令和7年12月12日(金)~12月13日(土)  
会場 アイム・ユニバース てだこホール(沖縄県那覇市)  
(2) 第50回全国高等学校総合文化祭(あきた総文2025)弁論部門  
日時 令和8年7月29日(水)~7月31日(金)  
会場 能代市文化会館(秋田県能代市)

### 13 長崎県代表の選出規定

#### (1) 九州大会

県大会の上位3名。ただし、代表弁士は1校につき1名とします。

#### (2) 全国大会

A代表…県大会の最優秀賞受賞者1名。ただし、最優秀賞受賞者が3年生の場合は、1・2年生の中での最高順位者をA代表に選出します。

B代表…A代表を除いて、12月の九州大会で成績が上位の者1名。

九州大会出場者に1・2年生がいない場合、県大会での1・2年生の次上位者がB代表となります。

14 参加申込 (1) <別紙1>に必要事項を記入し、承諾書については弁士・保護者本人が必ず自筆で署名の上、事務局（大村高校：岡本）宛にPDFデータでメール送付してください。2名出場する場合は、<別紙1>をコピーして作成してください。

(2) <別紙2>をもとに作成した弁論原稿をメールで送付してください。

申込締め切り：令和7年9月26日(金)必着とします。

### 15 大会日程

受付	9:00~	9:30	(30分)
開会式	10:00~	10:15	(15分)
休憩(審査基準確認)	10:15~	10:25	(10分)
弁論(1) 1~6	10:25~	11:13	(48分)
弁論(2) 7~12	11:25~	12:13	(48分)
昼食・休憩	12:13~	13:13	(60分)
弁論(3) 13~18	13:15~	14:03	(48分)
弁論(4) 19~24	14:15~	15:03	(48分)
休憩兼審議	15:03~	15:33	(30分)
閉会式	15:35~	16:05	(30分)

\* 出場弁士の数、その他の事情によって、予定時刻は大幅に変わります。  
あくまで目安としてお考えください。

16 諸会議 次のとおり行います。

(1) 大会役員打ち合わせ及び会場設営 前日 14:00~17:00 (3時間)

(2) 引率教員打ち合わせ 当日 9:30~9:35 (5分)

17 その他 聴衆を入れて実施する予定です。

18 部門事務局 【原稿郵送・データ送信先・問い合わせ先】

〒856-0835 大村市久原1-591

長崎県立大村高等学校内

長崎県高等学校文化連盟弁論専門部委員長 岡本裕加

TEL 0957-52-2802

FAX 0957-52-6115

E-mail [okamoto6815@news.ed.jp](mailto:okamoto6815@news.ed.jp)

<別紙1> (2名出場予定の学校は要コピー)

受付日	
-----	--

※上記の欄は記入不要です。

令和7年度長崎県高等学校総合文化祭【弁論部門】参加申込用紙

令和7年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

長崎県高等学校文化連盟弁論専門部  
専門部長 峰 薫 様

\_\_\_\_\_ 高等学校

校 長 \_\_\_\_\_

引率教諭名 (緊急連絡用tel) \_\_\_\_\_ ( - - )

引率教諭のメールアドレス \_\_\_\_\_

指導教諭名 (引率教諭と同じ場合は記入不要) \_\_\_\_\_

下記の生徒を本校の代表として出場させます。

ふりがな	学年 ・ 性別	男 年 女	校内推薦順 番目
弁士氏名			

※2名の場合。

演 題【上の段には演題の読み仮名(ふりがな)を記入してください。】


※副題がある場合でも27文字以内でお願いします。

個人情報及び著作物の取り扱いに関する承諾書

令和7年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

長崎県高等学校文化連盟会長  
猪 股 英 介 様  
長崎県高等学校文化連盟弁論専門部長  
峰 薫 様

私(弁士)は、長崎県高等学校文化連盟が主催する、「令和7年度長崎県高等学校総合文化祭弁論部門」に出場するにあたり、長崎県高等学校文化連盟の定める個人情報保護法及び肖像権等に関する以下の項目について承諾いたします。

記

- 1 私の氏名、学校名、学年等の個人情報、及び写真・映像が、全国、九州及び長崎県高等学校文化連盟、または連盟から許可を受けた団体や事業者によって、連盟が認めた範囲内で制作した各種印刷物や映像、会場内の放送、インターネットホームページ上で、掲載、発信及び放映される場合があること。
- 2 全国、九州及び長崎県高等学校文化連盟、または連盟から許可を受けた団体や事業者によって、大会の参加に関係する私の弁論原稿・弁論内容等の全部または一部が、長崎県高等学校文化連盟が許可した範囲で記録・複製され、各種印刷物及びインターネットホームページ上に掲載、あるいは連盟が認めた報道機関の記事や番組等で放映、掲載、紹介される場合があること。

弁士氏名 \_\_\_\_\_

保護者等氏名 \_\_\_\_\_

<別紙2>

長崎県高等学校総合文化祭弁論部門  
弁論原稿作成要領

(原稿作成イメージ)

- 1 用紙 A4タテ
- 2 文字組 ヨコ書き
- 3 字の大きさ 9ポイント
- 4 字数行数 特に定めません
- 5 字間 1% 行間 61%
- 6 マージン 上下左右最低20mm
- 7 (右：作成イメージ)
  - 1行目 空ける
  - 2行目 演題 13ポイントで中央寄せ
  - 3行目 空ける
  - 4行目 学校名 学年 氏名 右寄せ
  - 5行目 空ける

(1行空ける)
演 題
(1行空ける)
〇〇高等学校 〇年 氏名
(1行空ける)
本文.....
~~~~~

8 留意点

- (1) 弁論原稿は、必ずA4サイズ1枚に収めてください。
- (2) 弁論原稿データファイルは「一太郎」か「Word」で作成してください。
- (3) データファイル名は” 〇〇高校(弁士氏名). (拡張子)”としてください。
- (4) 上記の書式でA4、1枚に収まらない場合は、ポイント、行数を変えて収めてください。
- (5) データファイル送付は、添付ファイルとして以下のアドレスへのメール送付してください。

弁論専門部 アドレス: [okamoto6815@news.ed.jp](mailto:okamoto6815@news.ed.jp)  
(すべて半角小文字)

なお、メールの場合、送付者がわかるようにしてください。

9 原稿及び演題について

- (1) 原稿集は、大会当日に配布するよう準備しています。誤字・脱字等の校正は、各校でお願いします。事務局では原則行いません。よく見直して提出してください。
- (2) 発表原稿は、原稿集と一字一句同じである必要はありません。原稿提出後に、変更することがあってもかまいません。ただし、演題は、変更できません。
- (3) 演題は、申込用紙に記載してあるとおりとします。また、九州大会への原稿提出は、弁論専門部事務局が一括して九州大会事務局へ送ります。  
したがって、演題に関しては、よくよく吟味をした上で提出してください。

〈別紙3〉 このような審査基準で審査をします。参考にしてください。

審 査 用 紙

弁士番号		演 題				
		学校名				
		氏 名				
観 点		よい	普通	わるい	小計	
論旨 60点	A	話題のとらえ方 (10点) 趣旨に沿っていて具体的で魅力があるか	10 9 8	7 6 5	4 3 2	点
	B	構成・内容 (40点) 1…わかりやすい構成で筋が通っているか 2…具体例が適切であるか 3…強調するところがはっきりしているか 4…材料が豊富で生かされているか 5…発表が自分のものになっているか 6…感銘するところや訴えるものがあるか 7…結論が明快でよくわかるか	40 39 38 37 36 35	34 33 32 31 30 29 28 27 26	25 24 23 22 21 20	
	C	演題 (10点) 論旨をよく表現しているか	10 9 8	7 6 5	4 3 2	
表現 40点	A	抑揚や声の高低, 強弱 (10点) 適当であるか	10 9 8	7 6 5	4 3 2	点
	B	発声 (10点) 正しく、明瞭であるか	10 9 8	7 6 5	4 3 2	
	C	速さ、間の置き方 (10点) 適当であるか	10 9 8	7 6 5	4 3 2	
	D	姿勢・態度 (10点) 1 視線…聞き手をよく見ているか 2 姿勢…聴衆を前に、マナーを心得た姿勢であるか 3 動作…自然で内容をよく表現し、ジェスチャーや表現はよいか 4 外観…落ち着きと熱意があるか	10 9 8	7 6 5	4 3 2	
合 計 得 点		点				

※ 制限時間の過不足による減点は、集計段階で事務局が行います。減点しないでください。

※閉会式終了後、生徒本人へ渡します。何かアドバイス等があればお願いします。

講 評	審査員
-----	-----